

# 滋賀県立虎姫高等学校 創立百周年記念事業募金趣意書

謹啓 姉水会会員（同窓）の皆様には、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は姉水会並びに母校の教育振興・発展のために、格別のご支援・ご協力をたまわり厚く御礼申し上げます。

さて、母校である滋賀県立虎姫高等学校は、令和2年（2020年）に創立百周年を迎えることとなりました。母校は、地元関係者の方々の並々ならぬご努力により、大正9年（1920年）旧制滋賀県立虎姫中学校として開校されました。終戦間もない昭和23年、学制改革により滋賀県立虎姫高等学校として再出発しましたが、昭和24年改編により滋賀県立湖北高等学校虎姫校舎となり、さらに昭和26年再編により滋賀県立虎姫高等学校として再々出発することとなり今日に至っております。

この間、湖北地域を中心に多くの俊英が集う進学校としてその伝統を受け継ぎ発展させてきました。その歴史の根底には、一貫して変わらぬ『質実剛健』の校風が流れ、現在でも母校のあらゆる教育活動に脈々と受け継がれています。さらに校歌にあります『独立自尊』『方円自在』の考え方は、母校教育の大切な柱となっており、今までもこれからも、自主・自立の精神と柔軟な思考力及び心を持った人材育成のための指針となっています。

近年では、平成24年に文部科学省から「SSH（スーパーサイエンスハイスクール）」指定校に認定され、2期目として今日に至っています。また、平成31年3月には、西日本の公立校として初めて「国際バカロレア」認定校に指定されました。令和2年4月には、「国際バカロレア」一期生(以下IB生)が入学してきます。母校は今後も、湖北地域における伝統ある進学校として、これからの時代を担う国際的視野を持った有為な人材の育成に努めていくものと確信しております。

さてこの度、創立百周年を迎えるにあたり、同窓会である『姉水会』を中心としてPTA・教育振興会および学校が一丸となって記念事業を推進するため「創立百周年記念事業実行委員会」を組織させていただきました。

創立百周年記念事業では、2万名を超える同窓生の絆を深めると共に、滋賀県立虎姫高等学校の歴史を通じて、多くの有為な人材を社会に輩出してきた実績とその中に息づく伝統を受け継ぎ、次世代への継承を確固としたものとしたいと存じます。

そのため、創立百周年記念事業として次の4点を企画し、その事業実施のための募金を実施することとさせていただきます。

①次世代を担う現在とこれからの虎姫高校生（IB生を含む）の海外留学や学びの深化（高等学校での修学や大学等への進学）のため、給付型奨学金事業を主たる目的とする「財団法人姉水会奨学財団」を設立する。

○令和元年12月に滋賀県知事より「姉水会奨学財団」は一般財団法人の設立認可を受けました。今後、公益財団法人の申請・認可を予定しております。公益財団法人として認可されました場合（令和2年6月頃予定）には、財団に対するご寄附は、『税額控除』の対象となります。

②同窓会館である「姉水会館（セミナーハウス）」の建て替えを当局に要請し、会館内設備等の充実などで、その建設に協力する。

③令和2年11月7日（土）13時より、虎姫高校体育館にて「創立百周年記念式典」を挙げる。

○式典に引き続き、17時より、ホテル&リゾート長浜（旧長浜ロイヤルホテル）にて、会費制による「虎姫高校創立百周年記念祝賀会」を開催させていただく予定です。会費・参加申込み等の詳細は、令和2年7月発行予定の「会報姉水」をお待ちください。

④虎姫高校の校史をまとめた「虎姫高校創立百周年記念誌」を刊行する。

つきましては、別紙「募金要綱」にもとづき、募金を実施させていただきますので、よろしくお願いたします。実行委員一同は、滋賀県立虎姫高等学校創立百周年記念事業のため最善の努力を尽くす所存です。出費多端の折、誠に恐縮ではございますが、皆様にはこの趣旨をご理解いただきまして、創立百周年記念事業募金にご協力いただきますようお願い申し上げます。

謹 白

令和2年4月吉日

滋賀県立虎姫高等学校創立百周年記念事業実行委員会

実行委員長 大塚敬一郎（姉水会会長）

実行副委員長 沢田 昌宏（姉水会副会長）

実行副委員長 前畷 誠（教育振興会会長）

実行副委員長 中瀬 一輝（PTA会長）

実行副委員長 梅本 剛雄（虎姫高等学校校長）